

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄道)二九三五〜六(会館)電話(22)七二〇七

宣言を突入し決戦の場を

阻止延長ジェット 1.24総決起

三里塚・ジェット闘争貫徹、「国鉄35万人体制」粉碎!

！30「地本再建」デモ上げ第勤粉砕・813決戦勝利 全国から叩く仲間三千四百名が総結集！

ジェット延長阻止・勤労千葉三月スト支援をかかげた「1.24全国総決起集会」は、千葉市民会館大ホールからあふれ出る三四〇〇名のゆき返る熱気のうちに大成功をかちとった。勤労千葉と空港反対同盟を両輪として、それを幾重にも包みこんで決起した多くの支援の仲間の力が一つにより合われ、文字通り燃える火の玉となってへり3勝利へ！いざ一ヶ月半の決戦突入へ！と力強く宣言し、いよいよ歴史的な決戦は具体的な幕を切って落したたのである。この日、会場で寄せられたカネは63万6千円に達した。

勤労千葉副委員長と反対同盟石橋副委員長が主催者を代表してあいさつ

定刻前より、座席はもとより通路も壇も立錐の余地なく埋まり、入り切れない人がロビーにあふれ出るというかつてない結集と熱気の中で、集会は17時55分、(反対同盟)島津事務局長と(勤労千葉)吉岡教宣部長の司会で開始された。



大型バス四台で結集した、全関西東行連の仲間は、朝から、成田・佐倉・千葉・津田沼の各支部を訪ね激闘交流会ののち、15時から千葉駅前で大情宣活動を展開した。各支部へは、さまざまの多くの差し入れ品が送られ、組合員を感激させた。



断固たる勝利人の断固たる基調方針と決意がのびた。(1.24、千葉市民会館、発言した中野書記長)

からの813決戦そのものだ。労働連帯を強め、敷地内を先頭に二期工事粉砕、ジェット阻止、勤労千葉と女に最後の勝利まで闘いぬく」と決意をのべ全国の仲間の全力決起を熱烈に訴えた。

中野書記長・北原事務局長が、813への基調・方針を提起

続いて反対同盟と勤労千葉から「基調方針」が提起された。北原事務局長と中野書記長から、それぞれ労働連帯の真価をかけた決戦としての813の正義性などの決定的意義、さらに心勝の陣型をどう構築するか等を中心に提起がなされ、「当面する行動方針」が、①一月銃子決戦勝利(勿論大勝利)②地本再建粉砕③二月助役村岡士導入策動粉砕④2.18千鉄局抗議・沿線連統大情宣活動突入⑤2.23勤労千葉臨時大会「具体的戦術を決定」⑥3.1全国総決起集会(即ちスト)⑦3.2をもつスト突入、ジェット阻止、として提起され、満場をゆるがす歓声と拍手の中で熱烈に確認された。集会は最高潮に達した。このあと

石橋副委員長は「鈴木反動内閣の軍事大団化、改憲攻撃激化の中で、今、全国の耳目は一点『813』に注がれている。成否に集中されている。勤労本部『草案』が一月八日銃子と二緒にあって『延長提案』を受け、三月スト破りの最悪の先女として立ちあがりつつある事は断じて許せない。今、加えられてくる反対同盟と勤労千葉への組織破壊攻撃は、敵の側

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!